

# 平成30(2018)年度函館市水道事業報告書

## 1 概 況

### (1) 総括事項

平成30年度の給水人口は、前年度に比べ3,359人減少し、256,467人となり、給水普及率（給水区域内人口に対する給水人口の割合）は99.9%となった。

また、水道1日平均給水量は、前年度に比べ274立方メートル減少し、91,391立方メートルとなり、温泉1日供給量は、前年度に比べ279立方メートル減少し、3,589立方メートルとなったほか、年間販売電力量は、前年度に比べ62,901キロワット時減少し、1,505,593キロワット時となった。

事業収益については、給水需要の減少による水道料金の減少等により、前年度に比べ138,966,629円の収入減（2.9%減）となり、総額で4,681,067,006円となった。

事業費用については、退職給付費や企業債利息の減少等により、前年度に比べ21,131,114円の支出減（0.5%減）となり、総額で4,425,825,673円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ117,835,515円減少し、255,241,333円の純利益を生じた。

建設改良事業については、原水及び浄水施設事業では導水管整備事業等を、配水施設事業では配水管移設事業等を、簡易水道施設事業では垣ノ島遺跡保護整備に伴う配水管の更新等を、温泉供給設備事業では温泉供給管の布設替工事等を予定どおり施行した。

このほか、DBO方式（設計、建設、維持管理を一括して民間が行う。）を導入して行う赤川高区浄水場プラント設備更新整備等事業に係る事業契約を平成31年3月に締結した。